

第 42 回技術士 CPD 講座開催のご案内

公益社団法人 日本技術士会 茨城県支部
研修委員会 委員長 小林 守

- 日時 : 2019 年 10 月 05 日 (土) 13:00 ~ 17:00
- 場所 : ワークプラザ勝田 2F 研修室 2
〒312-00052 ひたちなか市大字東石川 1279 (Tel 029-275-8000)
<http://www.workplaza.or.jp/f500.htm>

● 講演 1 (13:00 ~ 15:00)

- ・ 演題 : 『データ分析の基礎』
- ・ 講師 : (株)日立製作所制御イノベーションセンタ 制御プラットフォーム研究部
主任研究員 技術士(情報工学) 新 吉高 氏

- ・ 概要 : AI(人工知能)やIoT(物のインターネット)というキーワードが流行って久しい。色々な物からインターネット経由でセンサデータを取得し、ディープラーニングのような AI が賢い判断をすることで、便利な機能が次々と生み出されることが期待されていた。しかし実際には、無意味な大量データの中から、実現したいことにフィットした本当に意味のあるデータを見つけることがとても難しいことがわかってきた。

本講座では、情報工学部門(ソフトウェア工学)の技術士である講演者が経験した事例をベースとして、表計算ソフトでできる簡単なデータ分析から、プログラミング言語 Python による統計処理、ディープラーニングに関する話題までを紹介する。講演者はデータ分析の専門家ではないため、数式や統計用語の解説は極力控え、データ分析の道具としての価値をお伝えすることを心がける予定である。

● 講演 2 (15:00 ~ 17:00)

- ・ 演題 : 『様々な材料における高温融体の熱物性測定 ー地上ならびに宇宙での実験ー』
- ・ 講師 : (株)エイ・イー・エス 筑波事業所 技術士(宇宙・航空) 渡邊 勇基 氏
- ・ 概要 : 金属や酸化物等の各種材料において、1500°Cを超えるような高温熔融状態の熱物性値(密度、粘性、表面張力など)は、工業プロセスや学術的観点から非常に重要である。しかし、保持容器との反応といった様々な困難さから、データそのものの取得例が少ないことや、信頼性に乏しいという課題があった。この 20 年ほどで、高温測定の困難さを回避する様々な手段が検討され、無容器である各種浮遊法の技術開発が進み、高温熔融状態の熱物性値が蓄積されてきている。また、地上での浮遊が困難な試料については、微小重力環境における浮遊状態での熱物性計測装置が開発され、様々な課題を乗り越えつつ運用を開始したところである。

本講演では、微小重力環境(国際宇宙ステーション:ISS)で行われている各種科学実験について紹介した後、地上およびISSで実施している高温融体の熱物性計測について、浮遊法の一つである静電浮遊技術を中心に紹介する。

- **参加会費** : 技術士会会員、一般 : 1,000 円
技術士会非会員 : 2,000 円

- **参加定員** : 定員 50 名先着順

- **申込先・申込期限** :
 - 日本技術士会 HP 会員コーナ「CPD 行事等予定欄」より申請。
<https://www.engineer.or.jp/kaiin/dmsw0200.php#month10>
 - 申込期限 : 10月01日(火)迄

- **お問合せ先** : 日本技術士会 茨城県支部 事務局
E-mail : ibaraki@engineer.or.jp
Tel : 029-219-5154
Fax : 029-265-5558
担当 : 小林

以 上

申込期限：10月01日(火)

茨城県支部 事務局 御中

E-mail : ibaraki@engineer.or.jp

Fax : 029-265-5558

第 42 回 技術士 CPD 講座 参加申込み

日 時 : 2019年10月05日(土) 13:00~17:00

場 所 : ワークプラザ勝田 2F 研修室2

講 演 1 : 『データ分析の基礎』

講 師 1 : (株)日立製作所制御イノベーションセンタ 制御プラットフォーム研究部

主任研究員

技術士(情報工学) 新 吉高 氏

講 演 2 : 『様々な材料における高温融体の熱物性測定 -地上ならびに宇宙での実験-』

講 師 2 : (株)エイ・イー・エス 筑波事業所

技術士(宇宙・航空) 渡邊 勇基 氏

申込 ; 2019年 月 日

フリカナ		会社又は機関名	
氏 名		部署・役職名	
会員の有無*	会員(部門名 ;)、非会員(部門名 :)、一般		
住 所			
Tel		FAX	
E-mail			
その他 ご要望等			

① 「会員の有無*」では、いずれかに○印し、技術士の方は、部門名を記入願います。

② 会費は、日本技術士会会員・一般 ; 1,000円、日本技術士会非会員 ; 2,000円になります。

以 上